

## ～「選択」の流れ(前半)～

前回の進路通信では、「進路選択」についてお話をしました。今回はより詳しく「進路選択の流れ」について話していきます。ただし、「詳しく」と言っても「全て」を含んでいる訳ではありませんので、わからない事やもっと詳しく知りたい事が出てくると思います。その場合は、自身でインターネットや2年生頃に配布している緑色の冊子(進路資料)にて調べてみたり、担任や学年の先生、もしくは進路担当田平まで聞いたりしてみましよう。

### 自身の目標が何か

大前提として、目標(今後何になりたいのか、どう生きたいのかなど)が決まっていますか？

**決まっている人は、その目標を実現させるために、どのような道筋で実現できるのか【逆算】**してみてください。そうすることで、これから何をすべきかが見えてきます。

**例1** 看護師になりたい。

- 国家資格である「看護師資格」が必要みたいだ。
  - そのためには、看護師国家試験に合格しないと・・・。
  - さらに、4年制大学か3年制の短大・専門学校に行く必要がある。
  - そうだ！看護コースがある〇〇高校へ行くために、さらに勉強だ！
- ⇒**進学**の道へ

**例2** 機械関係が好きで、“溶接”を仕事としていきたい。

- 「アーク溶接」のような資格が必要みたいだ。
  - 資格も必要だが、他にも技術を身につけないと・・・。
  - ハローワークへの問い合わせ。
  - 公共職業訓練を受講する。(2ヶ月～24ヶ月)
  - 志望する企業にて試験・面接を行う。
- ⇒**就職**の道へ

では、目標がまだまだ決まっていない人はどうすればいいのでしょうか。

一つの考え方として、今後の人生の選択の幅を広げるために、進学することをオススメします。ぼんやりとしかイメージできなかった夢や目標が、もしかしたら新しい環境や、様々な人と



の出会いを通してハッキリを見えてくるかもしれません。または、ドンドン勉強していく中で、興味がわき、心揺さぶられるものと出会い、目標が見つかるかもしれません。

私はそう考えています。

しかし、今伝えた事は、「進学してから」ではなく、「今この時から」でもできることです。ドンドン積極的に勉強しましょう。様々な人から話を聞いてみましょう。これまで手にも取らなかった種類の本を読んでみましょう。しっかりと時間を取らなくても、隙間の時間を利用して自ら行動し、それらを継続していくこともいいと思います。



さて、この「目標」の有無によって、まずは大きく『進学』か『就職』かの2つについて話をしました。次回は、「進学」を選択した場合、再びどのような「選択の流れ」があるのかを話したいと思います。では次回お会いしましょう。

《 今回のお話のまとめ 》

